



ご挨拶

本年度より佐賀県溶接協会副理事長を拝命いたしました戸上メタリックスの石橋です。日頃は当協会の運営に多大なご支援を賜り、紙面をお借りして感謝申し上げます。さて未だ終息が見えないコロナ禍ですが、新薬の開発や感染での適切な対応など、ある程度、社会活動を正常化する方向となってきました。なかでも産業界では、いち早くこの空白の2年間を取り戻すべく増産に舵を切り、活況となってきた業種も見受けられます。そんな中、私共が携わっております板金加工業においても、海外からのUターン案件など、受容量を超える依頼が来るようになってきました。しかし、それらの引き合いを受けるには、加工を担う優秀な人材が不可欠で、その人材の確保に各社苦労されている事と思います。特に当協会が関わっている溶接加工においては、慢性的な人材不足が続いており、自動化などである程度は凌ぎ越えても、ここの所では高いレベルでの溶接技能者を必要とします。

## 第7回佐賀県高等学校ものづくり溶接競技大会終わる

6月18日(土)、佐賀県工業技術センターに於いて、工業系高校(7校・29名)による過去最大の参加者により開催されました。今回から競技課題が変更となったことで、競技時間内での完成に選手は苦労したようです。審査要領は外観試験(表・裏)、曲げ試験(表曲げ・裏曲げ)の合計300点満点で採点を行い、団体の部、個人の部の入賞者を決定しました。

団体の部  
 優勝 佐賀工業高等学校(中島・松石・高森)  
 2位 有田工業高等学校(古賀・北川・山口)  
 3位 嬉野高校塩田校舎(木下・原口・山崎)

個人の部  
 優勝 中島三稀(佐賀工業)  
 2位 古賀琉愁(有田工業)  
 3位 松石怜士(佐賀工業)



表彰式は8月10日(水)、ホテルマリタレ創世にて開催し、受賞者の表彰並びに九州大会佐賀県代表選手が発表されました。

九州地区高校生溶接競技会  
 団体の部 佐賀工業 中島三稀  
 松石怜士  
 個人の部 古賀琉愁(有田工業)  
 高森あゆみ(鳥栖工業)  
 弓 柘哉

## 第52回九州・沖縄地区溶接技術競技会結果報告

5月29日(土)、九州地区溶接技術検定委員会(福岡)で開催された九州大会には佐賀県から手溶接2名、半自動溶接3名が参加しました。結果は団体の部で8位、個人の部では戸上メタリックスの鬼石選手(半自動溶接の部)が優秀賞を受賞されました。

- 団体の部  
 1位 大分県  
 2位 熊本県  
 3位 宮崎県  
 4位 福岡県  
 5位 沖縄県  
 6位 鹿児島県  
 7位 長崎県  
 8位 佐賀県
- 個人の部  
 手溶接 半自動溶接  
 優勝 井上(福岡) 松田(長崎)  
 準優勝 一 玉那覇(沖縄)  
 優秀賞 荒巻(大分) 鬼石(佐賀)  
 赤星(鹿児島)  
 優良賞 黒木(宮崎) 清田(熊本)  
 川本(福岡)  
 優秀作品賞 手溶接 小野(宮崎)  
 半自動溶接 山本(大分)

## 評価試験対策講習会

評価試験受験者を対象とした講習会を評価試験前に実施をしています。すべての種目に対応することは出来ませんがA-2・SA-2・TNを対象に参加費無料で行っています。活用してください。



## 高校生九州大会結果

九州大会はコロナ感染状況から各県でのリモート大会となり8月18日(木)佐賀県工業技術センターで開催しました。各県から集めた作品を九州地区検定委員会にて審査し結果が報告されました。

- 団体の部  
 優勝 宮崎県  
 2位 鹿児島県  
 3位 熊本県  
 4位 大分県  
 5位 佐賀県  
 6位 沖縄県  
 7位 福岡県  
 8位 長崎県
- 個人の部  
 優良賞  
 ・古賀琉愁 有田工業  
 ・高森あゆみ 佐賀工業

## 女子溶接競技会に向けて対策講習会を実施

11月19日(土)に開催される女子大会に向け課題対策講習会を2回開催しました。これまでの下向き溶接から縦向き溶接へ難易度を増した課題となりまき溶接6名、半自動溶接11名の合計17名参加となり、入賞を目指し意欲的に講習会に引き合っていました。また、選手間も顔見知りが増え、いろいろなお話、情報交換も増えてきているようです。これを機会に佐賀県での女性の力を発揮していただきたいと思っております。大会に参加することのメリットは、自分の実力を知ることができる。他社の方を知ることができる。選手間の交流ができる。自分の成長を感じ取れる。など何よりも溶接の知識が向上する。などです。表彰式は2月上旬の予定です。



## ====書記局からのお願い====

e-weld 全国実施が今年4月に始まり、佐賀でもサーベイランス・評価試験の実施など、皆様のご協力により順調に進んでいるところです。登録された資格は、今後、サーベイランスや再評価対象者の案内はメールで通知します。担当者の方は必ずチェックし、更新・受験のタイミングを逃がさないようご注意願います。

10/3に12月末切れサーベイランスの案内メールが届いています(対象者のみ)。ご確認の上、早めに手続きをお願いします。

評価試験 会場別合格率比較		名村	工技セ	産業技術
2018年度	全体			
	受験者	1,254	284	586
	合格率	76.30	79.42	75.31
2019年度	全体			
	受験者	1,279	308	570
	合格率	72.00	70.69	75.81
2020年度	全体			
	受験者	1,435	348	568
	合格率	72.35	77.01	72.79
2021年度	全体			
	受験者	1,330	307	566
	合格率	70.20	71.66	75.80
2022年度	全体			
	6月合格率	68.41	71.28	67.86

評価試験合格率の推移  
 溶接評価試験の合格率80%を目指して取り組みを行ってまいりますが一向に改善しません。6月の試験結果は68%と昨年平均をさらに下回り結果は。経験の少ない若い人に限らず経験者にも不合格が見受けられます。試験前の練習は勿論、溶接の正しい知識を身につけることが必要だと思います。評価試験前に対策講習会も行っていますので是非活用してください。